

(平成23年12月分)

部 門	市況の概要
野 菜	12月期の野菜の入荷状況は、根菜類、葉菜類、果菜類では、多くの品目で生育期の天候不順から作柄不良がみられ入荷減となった。土物類では、前年の入荷が少なかったことから、入荷増となった。野菜全体の入荷量は前年同期を3%下回った。 価格は、入荷減となった多くの品目で単価高となった。前年単価高であった土物類では、単価安となった。野菜全体では前年同期を13%上回った。 品目別には、ハウレンソウが入荷増の単価高、ハクサイ、バレイショ、タマネギが入荷増の単価安、カブラが入荷並の単価高、長ダイコン、西洋ニンジン、レタス、キュウリ、ナス、トマト、ピーマンが入荷減の単価高、キャベツが入荷減の単価安となった。 根菜類は、入荷が6%減少し、価格は19%高となった。 葉菜類は、入荷が5%減少し、価格は13%高となった。 果菜類は、入荷が7%減少し、価格は23%高となった。 土物類は、入荷が5%増加し、価格は14%安となった。
果 実	12月期の果実の入荷状況は、カンキツ類、リンゴ類で生育期の天候不順から作柄不良がみられた。カンキツ類では、前年が裏年で入荷が少なかったことから入荷増となった。一方、リンゴ類では、入荷減となった。カキ類は前年が不作であったことから入荷増となった。イチゴ類は、気温が高かったことから生育が進み上旬に入荷が集中したが、月全体では前年同期並みとなった。メロン類は、主力産地での曇天が続くなど天候不順の影響から入荷減となった。果実全体の入荷量は前年同期を4%下回った。 価格は、入荷増であった柑橘類、カキ類で単価安となった。一方、入荷減であったリンゴ類、メロン類では、単価高となった。イチゴ類は、入荷の少なかった中旬以降は、高値となったが、月全体では、前年同期並みであった。果実全体では、前年同期を3%下回った。 品目別には、ミカン、富有柿が入荷増の単価安、イチゴが入荷、単価ともに前年同期並、王林、ふじリンゴ、アールスメロンが入荷減の単価高となった。 柑橘類は、入荷が3%増加し、価格は11%安となった。 リンゴ類は、入荷が32%減少し、価格は34%高となった。 カキ類は、入荷が3%増加し、価格は10%安となった。 イチゴ類は、入荷、価格ともに前年並みとなった。 メロン類は、入荷が17%減少し、価格は3%高となった。

主要品目（野菜）	市況の概況
【根菜類】 長ダイコン カブラ 西洋ニンジン	徳島県、長崎県を中心に、千葉県、神奈川県、鹿児島県からの入荷。多くの産地で、生育期の雨量が少なく肥大不良がみられた。入荷量は、前年同期を４％下回った。 価格は、入荷減により前年同期を２２％上回った。 京都府を中心に、滋賀県からの入荷。 ９月下旬の台風の影響により作付面積が減少した。また１２月中旬以降の低温の影響から小玉傾向での入荷となった。入荷量は、入荷の少なかった前年同期並みとなった。 価格は、小玉傾向での入荷であったことから、大玉に需要が集中し、前年同期を７５％上回った。 長崎県を中心に、愛知県、鳥取県、鹿児島県、中国からの入荷。各産地ともに、生育期の天候不順から、細物傾向での入荷となった。入荷量は、前年同期を１４％下回った。 価格は、入荷減により、前年同期を１４％上回った。
【葉菜類】 ハクサイ キャベツ ホウレンソウ レタス	茨城県を中心に、群馬県、滋賀県、鹿児島県、和歌山県からの入荷。９月の台風やその後の多雨の影響から一部の産地で、作柄不良がみられたものの、主力の茨城県産、群馬県産の入荷が、順調であったことから全体の入荷量は、前年同期を３％上回った。 価格は、入荷増により、前年同期を７％下回った。 愛知県を中心に滋賀県、鹿児島県、茨城県、熊本県からの入荷。各産地ともに、９月の台風やその後の多雨の影響から作柄不良がみられ、入荷量は、前年同期を１１％下回った。 価格は、入荷減ながら、前年が高値であったことから前年同期を７％下回った。 京都府を中心に、徳島県、福岡県、群馬県、茨城県からの入荷。各産地ともに上旬までは、温暖であったことから、順調な入荷であったが、中旬以降、気温低下の影響から生育の遅れがみられ、品薄状態となった。全体の入荷量は、前年同期を５％上回った。 価格は、入荷増であったものの、中旬以降の品薄状態から全体では、１９％上回った。 兵庫県を中心に、徳島県、長崎県、愛媛県、岡山県からの入荷。各産地ともに、生育期の天候不順により作柄不良がみられ入荷量は、前年同期を１５％下回った。 価格は、入荷減により前年同期を６２％上回った。

【果菜類】	
キュウリ	宮崎県を中心に、高知県、滋賀県、徳島県、福岡県からの入荷。 各産地とも曇天が続いた影響から作柄不良がみられ、入荷量は、前年同期を11%下回った。 価格は、入荷減により前年同期を44%上回った。
ナス	高知県を中心に、岡山県、徳島県、京都府、熊本県からの入荷。 主力の岡山県産で、台風の影響から花落ちが発生し入荷減となった。全体の入荷量は、前年同期を19%下回った。 価格は、入荷減により前年同期を18%上回った。
トマト	熊本県を中心に、滋賀県、福岡県、京都府、愛知県からの入荷。 主力の熊本県産で生育期の天候不順により、小玉傾向での入荷となり、全体の入荷量は、前年同期を8%下回った。 価格は、入荷減により前年同期を20%上回った。
ピーマン	宮崎県を中心に、高知県、鹿児島県、茨城県からの入荷。 各産地とも曇天が続いた影響から作柄不良がみられ、入荷量は、前年同期を8%下回った。 価格は、入荷減により前年同期を32%上回った。
【土物類】	
バレイショ (メーク含む)	北海道を中心に、長崎県、鹿児島県からの入荷。 主力の北海道産で、生育期の天候不順から作柄不良がみられ、小玉傾向での入荷となった。全体の入荷量は、前年が不作であったことから、前年同期を7%上回った。 価格は、前年が単価高であったことから、前年同期を28%下回った。
タマネギ	北海道を中心に、兵庫県、中国、アメリカ、京都府からの入荷。 主力の北海道産は、生育期の天候不順の影響から作柄不良がみられたものの、全体の入荷量は、前年が不作であったことから、前年同期を5%上回った。 価格は、前年が単価高であったことから、前年同期を30%下回った。
【その他野菜】	
生シイタケ	徳島県を中心に、広島県、北海道、和歌山県、岐阜県からの入荷。 多くの産地で下旬からの気温低下の影響から発生が悪く、全体の入荷量は、前年同期を8%下回った。 価格は、入荷減により、前年同期を9%上回った。

主要品目（果実）	市況の概況
ミカン	和歌山県を中心に、福岡県、愛媛県、大阪府、香川県からの入荷。各産地ともに、9月以降、高温や降雨が続いた影響から作柄不良がみられた。入荷量は、前年が裏年で入荷が少なかったことから、前年同期を4%上回った。 価格は、入荷増であったこと、また、下位等級の入荷が多く、前年同期を11%下回った。
ふじ （サン含む）	青森県を中心に、長野県、岩手県、福島県、山形県からの入荷。各産地ともに生育期の天候不順により、小玉傾向での入荷となった。入荷量は、前年同期を34%下回った。 価格は、入荷減により前年同期を37%上回った。
王林	青森県を中心に、岩手県からの入荷。 各産地ともに生育期の天候不順により、小玉傾向での入荷となった。入荷量は、前年同期を31%下回った。 価格は、入荷減により前年同期を26%上回った。
富有柿	奈良県を中心に、福岡県、京都府、和歌山県からの入荷。 主力の奈良県産で9月に降雨が続いた影響から病害の発生がみられたものの、前年の入荷が少なかったことから前年同期を9%上回った。 価格は、入荷増により前年同期を11%下回った。
イチゴ	福岡県、熊本県を中心に、大分県、佐賀県、長崎県からの入荷。各産地とも11月下旬から12月上旬の気温が高かったことから生育が進み、12月上旬に入荷が集中した。全体では、前年同期並みとなった。 価格は、入荷の少なかった中旬以降は、高値となったが、全体では、前年同期並みとなった。
アールス	熊本県を中心に、静岡県、高知県、長崎県からの入荷。 主力の熊本県産で、生育期の天候不順により作柄不良がみられた。全体の入荷量は、前年同期を14%下回った。 価格は、入荷減により前年同期を4%上回った。